

林檎の森

りんごのもり



特集

雨との戦い…

為す術はないのか

津軽地域を中心に黒星病が多発…。

あれから3年の月日が流れ、今も尚、猛威を振るい続けていることは言うまでもないだろう。果たして、私たちに感染を食い止めることは出来ないのだろうか。

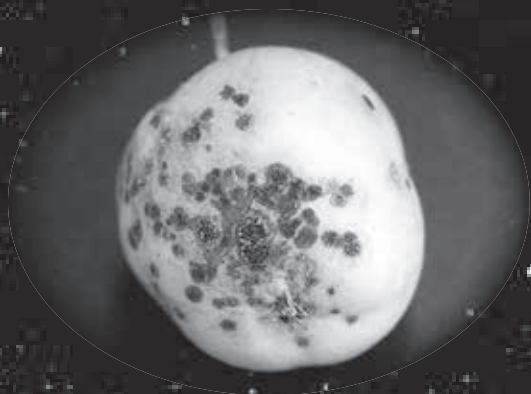
平成28年にりんご研究所が発表した黒星病のEBI剤に対する感受性低下が明らかとなって以来、治療効果が期待できる薬剤は未だに現れていないのが現状だ。治療効果と予防効果を兼ね備えていたEBI剤の効力が急激に低下したことにより、感染の予防を主体とした防除への理解が必要となっている。降雨前の薬剤散布や散布量、散布間隔といった基本的な知識から耕種的防除まで、もう一度見直すこととしたい。そして、薬剤散布だけでは抑えきれないほどの相手を前に、私たちは時間を掛けてでも耕種的防除に取組み、そして、地域一丸となって防除に徹することを再確認したい。

菌密度低下に向けて私たちに出来ることは一体何なのか。そして、今年になって新たに見えてきたこととは…。何が正しいのか模索している中で、今見えることについて情報を共有し、今後に活かせればと思う。

りんご黒星病

津軽地域において、平成27年から多発が騒がれている黒星病。葉や果実及び新梢に発生し、品種や感染時期によって病状が多少異なるものの、感染すると果実では最初に黒色すす状の小斑点となって現れる。また、幼果時の感染果は肥大するにつれて奇形や裂果する。子のう胞子や分生子の飛散により、瞬く間に感染拡大が懸念されることから、事態は非常に深刻だ。

黒星病の生活史として、越冬は落葉上の子のう殻内の子のう胞子が主体であるが、時には枝状病斑、



奇形及び裂果した被害果

芽及び芽の基部で菌糸及び分生胞子でも越冬すると言われている。子のう胞子については、リンゴの発芽期以降、降雨に逢つと子のう胞子から自噴して飛散し、幼葉や幼果に感染する。15〜20℃が適温であるが、春期の潜伏期間は約2週間。他の病害に比べればかなり長い。比較的低温を好み、真夏の頃は病勢が一時停滞し、9月以降は再び活動が盛んになる。

黒星病は、昭和30年頃に北海道で日本最初の感染が確認され、青森県では昭和44年に南部地方で最初に確認されている。その後も継続して発生し、多発に至った経緯がある一方で、当時は広域徹底防除に取組んだことで菌密度低下に結び付いた。

地域一丸となって 取組むことが大切

黒星病の胞子飛散距離は、約2kmにも及ぶと言われているほど広範囲であることから驚きだ。前段にもある通り、本県における過去の黒星病多発から菌密度低下に至るまでを振り返ってみると、胞子

飛散による感染拡大を如何に最小限にとどめるかという部分に焦点を絞っているように思う。広範囲に渡って胞子飛散があり得るということは、どれだけ自身の園地で徹底防除に取組んだとしても、近隣の園地で黒星病が多発していると密度低下への道は遠いと言えよう。しかしながら裏を返せば、一人一人が防除意識を高め、地域一丸となって黒星病撲滅を目指すことが菌密度低下への近道ということでもある。

「相馬」というリンゴに特化した地域特性を最大限に活かし、高品質生産に向けて一刻も早く対処しなければならないのは言うまで



菌密度の高い放任園の対策強化も必須

もない。私たちは高品質なリンゴで飛馬ブランドを築き上げてきたのだから。

耕種的防除の重要性

黒星病は、前年の被害落葉が一次感染源となり、子のう胞子の飛散は降雨によって引き起こされる。また、多発を免れる大きな要因の一つとして、春先の子のう胞子の飛散をどれだけ抑えることができるかが重要な鍵を握っているようだ。

黒星病は、子のう胞子の感染（一次感染）で葉に病斑を形成すると、そこに大量の分生子を生じ、これが二次感染を引き起こす。そのため、初発確認以降は分生子による二次感染に注意が必要となってくる。分生子による胞子飛散は、子のう胞子に比べて非常に多いことから、前年の被害落葉である一次感染源を抑えることで一次感染を最小限に抑えるとともに、分生子による二次感染も最小限にとどめる可能性が大きい。前年の被害葉を集めて園地外へ持ち出すなどの対策も講じながら一次感染を防ぐことで、二次感染も最小限にとど

※耕種的防除とは、菌密度を下げるため、被害葉や被害果を摘み取ったり、かき集めて処分することを指す。

めることに繋がると云えよう。

初期防除の基礎知識

耕種的防除で黒星病の越冬密度や被害葉を減らすことを前提としながらも、効果的な予防効果を持つ薬剤の選択と適期・適量散布が重要となっている。

前段にもあるように、子のう胞子及び分生子の飛散は降雨によって引き起こされる。一次感染を薬剤で効果的に防ぐには、子のう胞子が飛散する前に葉を薬剤で守ることが重要だ。また、春先は散布間隔を10日以上空けないように、



被害果・被害葉は摘み取り次第土中に埋める



走行している列とその次の列にも薬液は飛散している



S S通過後も薬液は舞っている



適正風量で散布量の濃淡が出ない様にする

散布量もしっかりと出すことが大切である。では一体、子のう胞子が飛散する頃とはいったなのだろうか。

黒星病は、園地の消雪が5割程度経過し、積算温度が1800℃に達すると胞子飛散が可能な準備が整い、その後の降雨によって一次感染を引き起こす（気温15～20℃）。積算温度とは、日平均気温が基準温度（±0℃）を超えた分だけを取り出して合計したものであり、黒星病の積算温度は1800℃である。このことから、アメダスの毎日の平均気温を目安として記録を取り、気温と天候を把握することで予防効果のある薬剤を

散布して感染を防ぐことが理論上は可能である。しかしながら、雪解けが早く、スピードスプレーヤが走行可能な園地では散布ができるものの、走行が不可能な場合は物理的に散布は厳しいのが現状である。一方、雪解けが遅く、被害落葉などの越冬した子のう胞子が積雪の下にある場合は雪で覆われている為、雪解けの早い園地に比べると子のう胞子飛散はやや遅くなる。いずれにしても、胞子飛散が整った積算温度1800℃という起点が肝を握り、雨前散布と散布量・散布間隔などを守って散布ムラがないように防除することが重要だ。

また、薬剤散布した日から10日後までには、新たな葉が形成されるが、それらには薬剤が付着しておらず、その間に降雨があると感染は免れない。発生ゼロを目指すのであれば、5日間隔で散布しなければならぬ。しかしながら、薬剤散布の回数が多ければ多い程、生産者の負担も大きく、リンゴの精算金額を対価に考えると散布回数などで負担が大幅に増えることは厳しいのが現実だ。雨前防除と散布間隔、期間内の薬剤保護効果を持続させるための散布量をしっかりと守ることを前提に、計画的な防除を徹底していかなければならない。



噴口（ノズル）が詰まっていることを確認



噴口が詰まっていると十分な散布が不可能

SS散布の要点

黒星病防除剤は予防剤が中心とな
なっていることから、スピードス

往復散布することで散布ムラを解消！



葉の表面は薬剤の付着量がほぼ無いことが伺える



葉裏は十分に付着量を確保



園地外周は、突き上げによる散布ムラの発生が懸念される



復路によって十分な付着量を確保



葉裏も十分に付着



葉の表面にも十分薬剤が付着するように復路（補助散布）も実施し、散布ムラをなくすることが大切

プレーヤ（SS）における散布ム
ラや散布量不足がないように防除
対策を講じることが求められてい
る。SS散布前では、噴口（ノズ
ル）が詰まっていることをしっ

かりと確認し、散布コースや方法
も再検討するなど課題は多いよう
だ。ここでは、効率よくSSで防
除することに重点を置いて対策を
考えたいと思う。

園地全体の中で、外周は片側の
みの噴霧となり、風の影響を受け
やすいため、散布量が少なくなる
場合が多くみられる。対策として
は往復散布の実施に加え、風が強



散布圧は1.5MPa前後を目安に

い場合は風量を強くするなど、対応が必要だ。また、散布ムラが生じない対策も必要だ。SSの真上は風量が大きく、薬剤が葉から飛散してしまう場合があるほか、SS旋回部についても考慮しなければならぬ。さらに、枝の混んでいる場所については十分な散布量が必要であり、薬剤が入るような整枝・剪定などが求められている。

また、計算上では散布量が十分であってもSSの走行スピードが速いことや風量が強すぎることによる散布ムラが生じていることが挙げられる。また、風量が大き過ぎると薬液が葉に溜まらずに飛散したり、葉裏のみに付着すること

適正な散布量を守ることが大切

芽出し当時	250/10a
展葉一週間後頃	300 //
開花直前	320 //
開花直後	350 //
落花10日後	350 //
落花20日後	420 //
落花30日後以降	500 //

が考えられる。噴口については、一番下を閉じている場合も散見されている。黒星病は下の枝や根バヤにも多いことから注意して頂きたい。

自然風、立地条件、散布コース、樹形、枝量など種々の条件によって農薬の付着程度が異なってくることから、散布後の薬液の付着状況の確認を行い、次回の散布の参考にし、場合によっては補助散布を行うことが大切である。

適正な散布速度を守る

散布にあたっては、SSによる防除効果を上げるために、時期に

噴霧用ポンプを正確に設置し、1メートル以上
置いてから行ってください。 4901374-01

散布速度表		単位 km/h				
変速段		エンジン回転速度 単位 min ⁻¹ (rpm)				
		1800	2000	2200	2400	2600
低	1	1.1	1.2	1.3	1.5	1.6
	2	1.3	1.5	1.6	1.8	1.9
	3	1.7	1.9	2.1	2.3	2.5
中	1	2.0	2.2	2.4	2.6	2.9
	2	2.4	2.7	2.9	3.2	3.5
	3	3.1	3.4	3.8	4.1	4.5

SSの散布速度表を確認し、十分な散布量を確保

よって速度を変えることが大切だ。現在導入されているSSは機種及び型式が多く、一概には言えないものの、大風量や高液圧型のSSでは次の速度が基準である。平成14年度のりんご生産指導要項には、芽出し当時から落花直後については2.5〜3.5 km/時、落花15日後頃以降については1.8〜2.5 km/時。ただし、風量850 m³/分、液圧4.5 kg/m²以下の小型SSではこれよりも0.5〜1.0 km/時、速度を落とした方が良いと示されている。

薬剤の効力低下

EBI剤の効力低下は基より、

秋期感染による収穫後の貯蔵中及び出荷先での発病が明らかとなったことから、夏場の防除に使用されていたフリント、ナリアWDG、ストロビーといったQoi剤（ストロビルリン系）の防除効に疑問を抱くようになった。そして、今年に入り、りんご研究所によってQoi剤の効力低下が明らかとなったことから、急遽、防除暦の変更がなされた。薬剤についても、最新情報を共有しながら効果的な防除に繋げていければと思う。また、ユニックス（AP剤）やフルールセイバー（SDHI剤）は、耐性菌発生リスクが高いことから効果的に使用するためにも年間1回の使用にとどめる必要がある。

秋期感染

残暑の年には除袋後の感染が見られる黒星病。15〜20℃が感染の適温であり降雨によって胞子飛散することから、夏の終わりとともに再び感染する可能性は大きくなり、伝播を繰り返す。

近年、発病が見られる前に収穫し、入庫後の貯蔵中に発病したり



上記3剤を含むキャプタン剤が収穫前日に登録変更

ンゴが散見されている中で、秋期感染にも細心の注意を払って防除に取組むことが求められている。貯蔵中の新感染はしないものの、既に感染し潜伏しているものが貯蔵中に病斑として発現する。また、越冬のための子のう殻の形成は10月頃から始まり、11月末頃で完熟し、子のう胞子を内蔵することから、秋に感染したものは翌年の発生に大きな影響を及ぼす。やはり、収穫で慌ただしい秋の農繁期に耕種防除を優先して進めることは厳しいものがあることから、秋期感染を防止するためにも感染が一



秋期感染した果実は赤道部より上に病斑を多く形成

成功事例から学ぶ

時停滞する夏の前に被害葉・被害果を抑え込んでおきたいところだ。葉は基より、果実への感染は生産者にとっても精算金額に大きな影響を与えるのだから。

平成30年は黒星病の越冬密度が非常に高かった中で、黒星病の発生が少なかつた園地も多かった。防除の特徴としては、降雨前の薬剤散布と十分量の農薬をゆっくりした速度で丁寧に散布されていることだった。さらに、薬剤が十分に



密度低下に向けて土中への鋤込みなども重要

かからない場所では竿がけによる補助散布を行ない、散布ムラがないようにしていた。また、耕種防除についても例年行っていた。何度も言うようだが、10日以内でも降雨前に実施することが肝心である。散布量は、10日間の薬剤効果を担保する目安であることから、十分な散布量を確保することからは必須条件である。日を追うごとに予防効果は薄れ、雨によって胞子飛散することから防除が万全でないと感じる感染は免れず、10日間の予防効果の保証もないと云えよう。適期適量散布ということを念頭に

入れ、こうした成功事例を活かしながら高品質生産に結び付けていかなければならない。

耕種防除については、一層の取組が求められている。収穫後に落葉の土中鋤込みを実施することで越冬密度を減らし、菌密度低下に結びつくようだ。降雪などもあるため、厳しいというのが本音であるものの、危機的状況に直面しているのは言うまでもなく、一刻も早い対策が求められている。

このような菌密度が高い中で、徹底防除は基より、地域一丸となつてハイレベルな防除を実施することが最も重要である。放任園の対策強化を図ることも求められているが、まずは自身の園地や近隣の園主と連携しながら感染を断ち切ることを目標に、もう一度黒星病防除を見つめ直して頂きたいと思う。

黒星病に打ち勝つためには、予め菌密度を減らしながら胞子飛散を抑え、降雨前の防除対策をとることが菌密度低下への道である。雨によって引き起こされる黒星病の感染は、私たちにあって、まさに雨との戦いと云えよう…。

(原色リンゴ病害虫図説 参考)

生産情報

農業振興課 二上 拓哉



○りんご作業（9／15～10／15）

管内のリンゴの肥大は、8月31日の調査でふじが76.3ミリと昨年と比べ2日ほど早い生育となっています。

今年は台風が発生が多く、厳重な警戒が必要です。防風網や支柱などを点検し、気象情報には十分注意して下さい。

●除袋時の注意

除袋の際はリンゴの果面焼けを出さないために次のような注意が必要です。

- ・一般的な二重袋では、まず外袋をはぎ、果実の色が黄色みがかつた時、あるいは薄い縞が入った時に内袋をはいで下さい。

- ・一発袋をはぐ場合には、曇天か晴天の日中（10時～14時）に行ってください。

また、外袋をはぐタイミングで果実に密着している葉を摘み取るようにしましょう。これは着色ムラをなくし、ハマキムシ類の被害を予防する場合にも有効です。

●被害を拡大させないために

黒星病・炭そ病等の被害果は、被害拡大を防ぐためにも、見つけ次第摘み取り、土中に埋めるなど適切な処理をしましょう。

果実に発生する疫病は、降雨時の収穫等によって果実に泥が付着することで、冷蔵庫内や出荷先にて発病することから、降雨時の収穫の

管内のりんご肥大状況（8月31日調査）

	湯 口	紙漉沢	相 馬	平 均	平年比
王 林	76.1	72.2	70.9	73.1	101.1%
ふ じ	76.9	79.6	72.3	76.3	103.5%

※単位は（mm）平年比は過去10年間の値

2018年 農作物防除記録の回収について

● 農作物防除記録の記入例 ●

農協提出用

2018 年度 農産物 防除記録

地 区 五所
氏 名 飛馬 太郎
作物名 りんご

コード番号 0 1 0 0 1 0 1
共 防 名 _____

共同防除（共防連加入）の場合は提出不要（りんごのみ）

	散布期間	散布量 (10a 当たり)	薬 剤 名 (倍 数)
1	4 月 25 日 ～ 月 日	300	ベフラン (1,000) ダズバンDF (3,000) ハーベストオイル (200)
2	～ 月 日		
3	～ 月 日		

※共同防除（共防連加入）の場合は提出不要です。（りんごに限る）

※共防連に加入していない共防は代表者が一括して提出しても構いませんが、構成員全員の名前を記入して下さい。

10月上旬に、職員が今年度の「農作物防除記録」の回収に伺います。記入例を参考に、「誓約書」と併せて必ず提出くださるようお願い致します。
なお、「りんご生産量調査」等については12月上旬に回収にいたします。

際にはできるだけ果実に泥を付着させないように収穫カゴの底にネットを敷き、収穫カゴを直接地面に置かないなどの工夫が必要となります。落下した果実を収穫果に混ぜたり、泥のついた手袋などでは果実に触らないようにしましょう。

●農作業事故には十分注意を

これからの時期は、夕暮れが早く農作業も忙しくなります。機械の取り扱いや、ハシゴの上り下りをする際は十分注意し、事故やケガのないように農作業を行いましょう。

果実販売動向

販売課 米澤 松太



8月の果実動向は、スイカについては、気温の高さから売り場が維持されている中、各産地の減少から引き合いの強い状況が続き、桃については、依然流通量が少ないことから、高水準での価格推移となっていますが、小売価格が高すぎることから企画が減少し、売場は縮小傾向となっています。メロンについては、北海道産が低温の影響から少ないこと、また、本県産も少ないことから概ね保合いでの推移となり、夏果全体では数量減の単価高となりました。リンゴについては、29年産リンゴ主体の売り場構成となっていますが、流通在庫が少ないことから他県産の早生種リンゴへの切り替えが進み、下位等級の比率は高いものの堅調な価格での販売開始となっています。消費地が堅調であることに加え、中秋節（9月22日）向け輸出の需要から産地市場も高騰続きとなっています。

9月には夏果実の流通量の減少に伴い、ナシ、ブドウ、柿等の秋果実の売り場が徐々に拡張されるなか、リンゴについては企画商材として引き合いの強い状況となっています。長野県産リンゴについては、前進傾向で推移していることや、全体量が少ないことから上旬には切り上がる見込みであることから、産地間移行はスムーズに行われることと予測されます。今後、サンツがるについては、企画販売が活発となっており、きおうについてもほぼ輸出向けとなっていることから、順調な販売が見込まれますが、後続中生種リンゴも前進傾向であることから早めの切上がりが重要となります。作業員の減少が深刻な状況となっている中、大学生アルバイトや、外国人研修生、「職員職場離脱」の実施により、早生種を早期終了し、中・晩生種の有利販売に努力します。

りんごの予想収穫量及び結果樹面積

青森県「攻めの農林水産業」推進本部公表

品 種	ふ じ	王 林	ジョナ	つがる	その他	合 計
予想収穫量 (t)	218,900	42,600	49,500	43,100	101,400	455,500
前 年 比 (%)	112	93	118	97	113	109
結果樹面積 (ha)	9,520	2,130	1,980	2,270	3,900	19,800
前 年 比 (%)	99	98	99	100	99	99

JA相馬村 職員募集

- 応募資格 高卒以上、または平成31年3月卒業見込み者。
- 募集人員 若干名（男女不問）
- 職種 JA業務全般
- 給与 当JA給与規定による。
- 採用条件
 - ①採用試験に合格した者として。
 - ②採用後は臨時雇用員とし、のちに正職員採用制度により正職員として就業できます。
 - ③採用は平成31年4月1日の予定です。
- 応募書類 受験願書はJA相馬村本所 総務課にあります。
- 応募締切日 平成30年10月31日(水)
- 試験日等 後日、応募者に直接お知らせいたします。
- 試験内容 一般常識・作文・面接



お問合せ：
相馬村農業協同組合 総務課まで
TEL 0172-84-3215

直売所「林檎の森」

直売所 三上 礁子



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当直売所には、会員の方々が作った新鮮でおいしい野菜や果物、惣菜が毎日たくさん並んでいます。



炊き込みご飯によく合う、千本しめじ

サクラシメジ、ハタケシメジ、ホウキダケなども豊富に入荷され始めてきました。これからは、今以上に「山の幸」が出てくると思いますので、この秋にしか味わうことの出来ない食材を味わってみて

はいかがでしょう。

さて、9月に入ると林檎の森の名にふさわしいリンゴがたくさん出荷されてくる頃となりました。陳列棚には、甘味と酸味が特徴の早生リ

ンゴが多い一方で、これからは徐々に甘味とコクの深い中生種や晩生種のリンゴが多くなってきました。リンゴの発送も受け付けておりますので、スタッフにひと声お掛け下さい。県外の友人や親戚の方には是非、飛馬リンゴをオススメ致します。

さらに、最近は山のキノコ類の

いきいき女性部通信

農業振興課 女性部担当 堀井 裕子



8月8日、弘前市のフォルトーナにおいて「JA共済ヘルスアップ講座」が開催され、女性部25名とエルダーミセス会19名の総勢44名が参加しました。

医師による講話では、ヘルスチェックや健康診断の簡単な見方のほか、短命県日本一である青森県において、生活習慣病から引き起こす骨粗しょう症の予防について学びました。健康で暮らす為には、やはり笑いが欠かせないという事でした。

さらに、健康的な笑いのイベントとして林家木久扇さんの漫談がありました。長く親交があり最近亡くなった故桂歌丸さんとの話や、自分で体験された戦時中の話など、あつという間のひと時でした。笑いには、人を和ませ元気にする効果があるそうです。木久扇さんのお話で会場全体が笑顔に包まれていました。

また、イベントでは地元食材をふんだん使ったオリジナル弁当

「100歳弁当」を食したほか、シルバー世代から体力に自信のない人でも実践出来る「レインボー体操」で体も動きました。

この講座を通して体を動かし、おもいつき笑つことで多くの方が元気で過ごしていけるようにしたいと感じ、女性部及びエルダーミセス部会でも話題となりました。皆さんも一日の中で声を上げて笑ってみましょう。きっと免疫力もアップさせることに繋がります。楽しい気分を一日を過ごすことが出来るはずですよ。



笑顔で短命県返上を！

1 農業用軽油引取税免税証の交付申請について

中南地域県民局県税部では、平成31年に使用する農業用軽油引取税免税証の交付申請を、次のとおり受付します。

申請書等の用紙は、中南地域県民局県税部及び農協各支店に用意してあります。申請が遅れると免税証の交付も遅れることになりますので、受付期間を必ず守り、必要書類を添えて申請してください。

(1) 受付期間：平成30年11月5日(月)～平成30年11月30日(金)

(2) 受付場所：中南地域県民局 県税部
弘前合同庁舎（弘前市蔵主町4）本館2階

(3) 必要書類等

書 類	申 請 者	個人・共同			組合・法人		
		新規	継続	更新	新規	継続	更新
1 簡易書留封筒(402円分の切手貼付のもの)	※1	○	○	○	○	○	○
2 免税軽油使用者証(共同)交付申請書	※2	○		○	○		○
3 免税証交付申請書		○	○	○	○	○	○
4 免税軽油所有数量計算書		○	○	○	○	○	○
5 農業委員会発行の耕作証明書		○	○	○	○	○	○
6 免税軽油使用計画書(様式任意)	※3	△	△	△	○	○	○
7 免税軽油使用実績書・受払書(様式任意)	※3		△	△		○	○
8 組合(法人)の定款・規約・商業登記簿謄本等					○		
9 組合員名簿(全員の押印があるもの)					○	○	○
10 使用機械譲渡証明書(販売証明書)	※4	○		△	○		△
11 400円分の県証紙貼付の県税関係証明等原簿		○		○	○		○
12 誓約書		○		○	○		○
13 免税軽油の引取り等に係る報告書の提出期限の特例申請書	※5	△	△	△	△	△	△
14 前回交付の免税軽油使用者証			○	○		○	○
15 免税軽油の引取り等に係る報告書			○	○		○	○

○…提出が必須です。△…※3～5をご覧になり、該当する方は提出が必要です。

※1 免税証の交付枚数が多い方は、切手代が402円を超える場合がありますので不足のないようにしてください。
(目安として、60枚を超える方は450円分、120枚を超える方は515円分の切手が必要です。)

※2 親子間で使用者証の名義が変わる場合には、関係を証明する書類(戸籍抄本等)が別途必要になります。

※3 個人・共同の申請者で、使用計画のある場合は、提出してください。

※4 使用機械に変更のある方については、更新の申請となり、新しい機械の譲渡証明書が必要です。

※5 特例(報告書を6か月分まとめて提出することができます。)申請を希望する場合は、提出してください。

2 不正軽油は犯罪です！

不正軽油とは、脱税を目的として、軽油に重油や灯油を混ぜ、軽油と偽って販売されているものです。

不正軽油の製造、販売はもちろん、使用した人も10年以下の懲役、1,000万円以下の罰金が課されるなど、重い罰則が適用されます。

不正軽油の撲滅に御協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

中南地域県民局県税部 TEL **0172-32-1131** 内線 **228・378**

組合員の皆様へ



もしものときもJAがお手伝いいたします

24時間受付
年中無休

安心のご葬儀は、JAへ



白妙祭壇（12尺） 組合員価格25万円（税抜）



家族葬祭壇（4尺） 組合員価格12万円（税抜）

地域集会施設の葬儀でお手伝いさんでお困りではありませんか？

JA葬祭からのご提案

お手伝いさんプラン（有料）

- ・会場の下足係り
- ・駐車場係り
- ・お供物解体、お花包み、お供物自宅届け
- ・会場清掃

+

JA葬祭無料サービス

- ・司会
- ・イスの貸し出し、イスのセッティング
- ・お供物の移動
- ・ポスター貼り

葬儀のことならすべてお任せください。まごころ込めて対応いたします。

葬儀専門ホール同等のサービスをご提供いたします

やすらぎ会員特典

祭壇料金 **10%** 割引

お見積り無料
事前相談無料

お気軽に問い合わせください



JAでは盛籠、生花、仕出し、お供物も
取り扱っております

葬儀費用と一緒にJAでお支払いできます

JAは安心価格・明朗会計

 **JA相馬村**

本 所
84-3215

湯口支所
84-2470

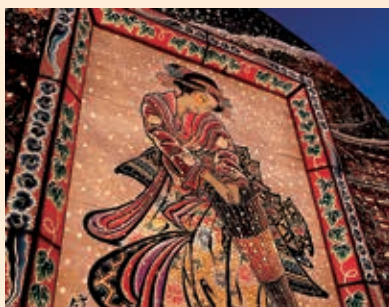
相馬支所
84-2534

 **JA全農あおもり
葬祭センター弘前**

年中無休 24時間受付
(0172) 29-2277

HI-2018.08-650

地域おこし協力隊 活動記 Vol.40



地域おこし協力隊の鹿内&北野です。弘前市長賞おめでとうございます！
少しでも「相馬のねぶた」を盛り上げられればと、今年も参加させていただきました！
みんなと一緒に運行した「相馬のねぶた」が、大型ねぶた2番星の大賞を獲得した瞬間、嬉しくて「うるっ」としていたのはここだけの秘密です。今回はねぶた参戦記をお届けします。

〈あかり〉
私は昨年に引き続き鉦での参戦！ 今年も審査日の前日に、相馬の仲良しご家族に呼んでいただき、土手町に行ってお囃子の研究をしていました。最前列で見上げる大迫力の扇ねぶたに圧倒されていると、春から小学2年生になった鉦改め笛の師匠に、「ほら、お囃子来たよ！ ちゃんと研究しろ！」と喝を入れられ大笑い、この夏1番の思い出です（笑）。家族でいいな、そしてねぶたは素晴らしい文化だな〜としみじみ感じたねぶた祭りでした。
〈きたの〉

わは昨年に引き続き囃子方を志願。体に叩き込んだ相馬のリズムはしっかりと体に染みついているはず！と思いきや、連夜の練習では今年も叱咤の嵐…。家に帰ってからは鏡の前にて素振りの復習、の日々でした。2年目の今回、少しは進歩してたでしょうか？ 今年は3歳になった我が家の「コウダイ」も隊列に参加。行進中に聞いた「そ〜まのねぶた、じっちゃもばつちやも見てけるや〜」が気に入ったのか、今でもうちで叫んでいます（笑）。

6月9日（土）の小屋かけから、7月22日（日）の紙張り、祭り本番の8月2、4、5日を経て、解体するまで約2か月。この間、地道な作業を夜な夜な積み重ねたねぶたを仕上げた相馬ねぶた愛好会の有志達。祭り当日、会場までねぶたを運ぶ人々、運行に携わる多くの相馬人を運んでいたドラライバーたち。出陣・帰陣の際に、「ほっと」する温素麺と焼きおにぎりでもてなしていただいた相馬の女性部賄いボランティアチーム。ここで紹介しきれないくらい多くの献身的な支えがあつてこそ、晴れの日に相馬の皆が集い気持ちを通わせることができているんだなあ、と感じた今年のねぶた祭りでした。
一方で、「ねぶた」に興味のない方々もいることに気づき、もっと多くの相馬人がねぶた祭りを機会に心ひとつになれたらいいなあと思うしだい。そのため自分には何ができるのか…。まずは自分のできるところから、来年こそねぶたを作り上げるところから役にたちたいと思っています。

へば

農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。今日はホラーと

マムシとオンベが来ている。雨が降って畠サ行かないからと。

ホラー「オレエの倅（せがれ）は吾（ワ）こと追い越したじゃ。りんご作りのベテランだじゃ」

マムシ「ナニ？　ゴヤ切るなじゃ。ベテランでなくベテランだべ？」

オンベ「ホラ吹きには税金がかからないからな——」

マムシ「ところで、オレエの畠の隣りが湯口の○○畠だけれども、枝がオレエの畠サ伸びて来ているし、根もオレエの畠のジギ（肥料）を吸収しているらしいのだ。ところが隣のツンポケ、酒一升も持って来ないのだ。枝を伐（き）ってしまっか」
オンベ「民法の第一二五条だっかに、ちゃんと書いているよ」
マムシ「どう書いている？」
オンベ「吾（ワ）買った六法全書は高かった。一升持って来ないも教えられないよ」

ホラー「此処でお茶を飲んだら小

便出たくなったじゃ。ヘンツへ行つて来るじゃ」

マムシ「ヘンツ？　なつかしい言葉だナ——」

オンベ「軍隊では廁（かわや）と言ったぞつだ。ヘンツとは津軽弁ではないよ。古語の雪隠（せっちゃん）で辞典に出てくるよ」

ホラー「ツボ（庭園）も方言ではないぞつで」

オンベ「京都の茶室の縁側の、すぐ外側にある小さな庭園…それを坪庭と称するのだぞつだ。津軽のツボはその流派だぞつだ」

ホラー「武学流？」

オンベ「津軽のツボの要（かなめ）は黒松で、三戸郡はオンコ。上北郡では農家が冷害で貧乏だったからツボ（庭）が無いよ。」

マムシ「旧相馬村で、一番いいツボはどここの家のものだべ？」

ホラー「亡くなった長内元組合長も、ツボの松の手入れをよくやっていたナ——」

オンベ「ツボ（庭）は一種の文化

だぞつだ。庭師が一番多い所は尾上町か」
マムシ「欲太郎や貯一（ためいち）などのツボは貧弱だナ——」
オンベ「松の仕立ても一種の芸術

だナ——」
ホラー「オレエの本家の白壁の土蔵とツボ、アレは金持ちのシンボルだナ——」

和顔招福
低頭豊心

飛馬
秋田義信
92才

恋空の
早くも熟して
挽ぐ喜び

我がスポーツは
りんご作りよ
一生磨く

平成二年相馬史
農協五賞を受賞
(三上隆雄、
山内 弘)

国議員二人
(田沢勝衛)

九月の川柳



編集部をつぶやき～編集後記～

9月に突入し、一気に収穫の秋へ…。先日は、スピードスプレーで薬剤散布中の写真を撮りに早起きで相馬へ。天候にも恵まれ、絶好の散布日和でした。高品質生産に向けて殺菌及び殺虫剤の散布ですが、春先から始まった薬剤散布も終盤となりました。しかしながら、黒星病の感染には油断を許せない状況ということで、被害果及び被害葉は見つけ次第摘み取ることを継続することが大切です。翌年の菌密度低下を心掛けながら、最後までしっかりと高品質生産に取り組みましょう。(S.daiky)

今月の表紙

スピードスプレーによる復路の補助散布

理事会だより

8月20日(月)

- 1) 決算書類監査結果について
- 2) 全国監査機構監査部監査報告について
- 3) 7月末残高試算表について
- 4) 平成29年度自己資本比率承認について
- 5) 内部監査規程の全面変更について
- 6) 監事監査規程の全面変更について
- 7) 退任監事に対する退任給与金の支給について
- 8) 監事の補欠選任について
- 9) 第54回通常総会開催について
 - ① 通常総会参考書類の承認について
 - ② 議決権行使書面の取扱いについて
 - ③ 決算書類及び部門別損益計算書の承認について
- 10) 臨時職員就業規則及び職位区分の改定について
- 11) ペイジー口座振替受付サービス取扱要領等の制定について
- 12) 貸付関係について
- 13) りんご販売関係について

今月のあなたの運勢 ★ 10月 ★

モナ・オサンドラ



♈ 牡羊座 ★ 3/21 ~ 4/19

全体運

勢いがつき過ぎて空回りするなど、バランスを崩しがち。時々一歩引いて、自分の行動を冷静に見詰め直して

健康運

ストレッチなどで血行を良くすれば安泰

幸運を呼ぶ食べ物

ニンジン

♉ 牡牛座 ★ 4/20 ~ 5/20

全体運

心理的に不安定になりやすいかも。難しく考えず、気楽に構えるのがベストです。気分転換には散歩がお勧め

健康運

リラックスすることで体調に好影響あり

幸運を呼ぶ食べ物

マツタケ

♊ 双子座 ★ 5/21 ~ 6/21

全体運

楽しい出来事に縁があります。お祭りやイベントに参加し、にぎやかに過ごして。新しい才能を発見できることも

健康運

体力アップを図る好機。スポーツが吉

幸運を呼ぶ食べ物

ギンナン

♊ 蟹座 ★ 6/22 ~ 7/22

全体運

ちょっとしたことでイライラしやすい暗示。人の言葉を悪意に取らないよう、注意して。手作りアイテムにつき

健康運

体を動かせば、グンと活力が高まるはず

幸運を呼ぶ食べ物

スタチ

♌ 獅子座 ★ 7/23 ~ 8/22

全体運

コミュニケーション能力が急上昇中。初対面でも笑顔で声を掛け、人脈のネットワークを広げて。オフ会も幸運

健康運

疲れをため込まず、適度に解消すると◎

幸運を呼ぶ食べ物

ニンシ

♍ 乙女座 ★ 8/23 ~ 9/22

全体運

人を当てにすると、思わぬめめ事を招きがち。自分のことは自力でやった方が、ラッキーな結果を得られます

健康運

暴飲暴食はNG。十分に胃腸をいたわって

幸運を呼ぶ食べ物

カブ

♎ 天秤座 ★ 9/23 ~ 10/23

全体運

やる気がアップして、いろいろなことにトライしたくなりそう。過去に駄目だった事柄にもリベンジできる兆し

健康運

活動的になれば、なるほど運氣アップへ

幸運を呼ぶ食べ物

サケ

♏ 蠍座 ★ 10/24 ~ 11/22

全体運

強引に物事を進めるのには向かないものの、周囲と協力することで、状況は改善するはず。気晴らしには足湯を

健康運

無理は厳禁。疲れたら、しっかり休んで

幸運を呼ぶ食べ物

ナメコ

♐ 射手座 ★ 11/23 ~ 12/21

全体運

周りから良い影響を受けやすい時期。分からないことがあったら、一人で悩むより、相談してみるのが正解

健康運

軽くスポーツに励むと体調アップの予感

幸運を呼ぶ食べ物

柿

♑ 山羊座 ★ 12/22 ~ 1/19

全体運

できる人と比べて、落ち込みやすい傾向がチラリ。「人は人」と割り切り、自分のやり方やペースを大切に

健康運

運動不足から体重増を招きがち。ご用心

幸運を呼ぶ食べ物

イクラ

♒ 水瓶座 ★ 1/20 ~ 2/18

全体運

思い切って動けば、停滞していることも打破できそう。直感を信じ、やってみるとグッド。楽天的な発想が大事

健康運

健康に良いことを始めると、徐々に好転

幸運を呼ぶ食べ物

カリン

♓ 魚座 ★ 2/19 ~ 3/20

全体運

何かと深刻になりやすい月。意識的にプラスだと思える部分を見るようにして。ヒーリング音楽でリラックスを

健康運

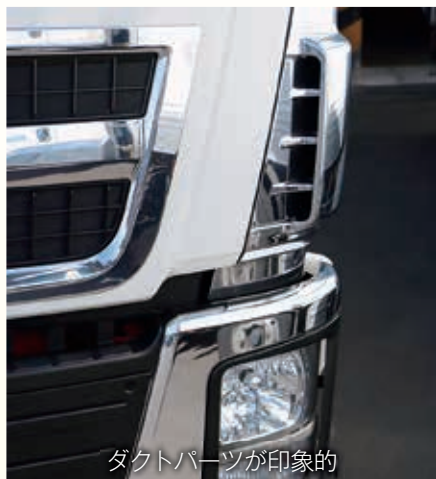
食生活に配慮を。栄養バランスを考えて

幸運を呼ぶ食べ物

サンショウ



メッキパーツが顔面を飾る



ダクトパーツが印象的



社名とマークが輝く



弘南運輸が大田市場東一東京青果に向けて出発

ひとときわ輝くパートナー
「おらほのりんご」でさ行く編



トラック内が相馬カラーに染まる



サンつがるの特選などを出荷

サンつがるは、青森生まれの早生りんごで、ゴールデンデリシャスと紅玉の交配品種である。酸味が少ない甘口の品種であり、ふじに次ぐ2番目の生産量を誇る。なんとこちらもジュシーさが特徴の品種である。是非一度、ご賞味あれ。

今回、当JAフルーツステーションから出荷されたのは、サンつがるの特選など516ケースとリンゴジュース（ふじ・王林）100ケース。行先は、東京都の大田市場にある東一東京青果だ。片道約9時間掛け、(株)弘南運輸の花田一男さんが運ぶ。ドライバー歴約30年のベテランドライバーだ。安心・安全を第一に、一つ一つ丁寧に飛馬カラーの青いダンボール（10kg）を積み上げ、東京を目指して出発した。

魅力
Part 2

農業振興課
広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

林檎の森

2018.9 Vol.434

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2018年9月15日

JA 相馬村概況

〈平成30年8月末日現在〉

組合員数	878人
（うち准組合員数）	363人
出資金	630,620千円
貯金額	9,203,317千円
共済保有高	3,489,320万円